

主催 産経ジュニア書道コンクール実行委員会 産経国際書会 産経新聞社
後援 文部科学省 東京都教育委員会 神奈川県教育委員会
埼玉県 千葉県 フジテレビジョン ニッポン放送

書に親しみ、そして楽しもう

産経ジュニア書道コンクールは全国の幼・小・中・高校生を対象に、書写、書道の普及・発展を目的に開催しています。この書道展を通じて青少年の皆さんが日本の伝統文化に触れ、親しむことで「健全な心」を養ってほしいと願っております。

平成元年(1989年)に始まった「産経ジュニア書道コンクール」は今回で35回目を迎えました。日本全国、海外からご応募いただいた作品は12580点で過去最高となる多くの作品が揃いました。審査会は6月26日に東京都美術館で30人の審査員によって厳正に行われ、中学生以下は最高賞の文部科学大臣賞から佳作まで、高校生の部は産経新聞社賞から入選までが決定しました。応募作品はすべて会場に展示されます。

この産経ジュニア書道コンクール特別版では、A部門(中学生以下:半切1/4、高校生:半切、B部門(半紙)などの特別賞の作品、氏名、中学生以下の推薦、特選受賞者、高校生の秀逸賞受賞者の氏名を掲載しています。令和6年の本コンクールの応募要項は11月にできる予定です。公式サイト(www.sankei-shokai.jp)、事務局(☎03-3275-8902)などでご確認のうえ、ふるってご参加ください。

未来の担い手に感動

本年も主催の産経新聞社、文部科学省を始め皆様のご後援を頂き盛会に開催できましたこと衷心より感謝申し上げます。お陰様で本展も昨年に上回る出品を頂きました。出品者の皆さん、ご家族様、指導されている諸先生に深い敬意を表します。出品作品のレベルも毎年向上し、全国より委嘱された審査員の先生も、感動をもって真剣に公正に審査いたしました。



審査長 松崎 龍翠

幼小生から中学生の作品は大方で伸びやかに表現され、線の充実や形づくりなど学年の重ねに比例して、筆力の向上が顕著に見られました。

高校生では、臨書に取り組まれる事から卒業の臨書の出品が多く見られました。臨書で練習を鍛え更なる活躍を期待しております。

年	出品数
2011	5,555
12	6,668
13	7,026
14	7,751
15	7,500
16	8,486
17	9,322
18	9,393
19	9,545
20	5,571
21	10,440
22	11,741
23	12,580

中学生以下 A部門

文部科学大臣賞

江戸川区立鹿骨中3年 河口 安寿(東京)
長年憧れていた賞を頂き、夢のようです。まさに「熱烈峻厳」妥協を許さない厳さで情熱を注いで仕上げた一枚です。指導いただいた先生と家族に感謝し、日々努力します。



熱烈峻厳

堂々として躍動と謹厳の筆致で充実し、熱烈峻厳のもの力強い作品です。行書の筆を包含して、品の高い作品となりました。名前も行書(松崎龍翠)に添って立派です。

ジュニア大賞

高松市立多肥小5年 小比賀 惻心(香川)
素晴らしい賞頂きありがとうございます。元氣よく強い「勝利の道」に仕上がるといってなんでも練習しました。いつも熱心に指導くださった先生に感謝申し上げます。



勝利の道

起筆収筆に乱れがなく、特に直線の力強さは絶品。点画の多彩な表現にも脱帽。勝利の道を描いて歩む心さんの姿に期待し、これからの書道展を見届けたい、待っています。

東京都知事賞

青梅市立第二中2年 高野 美心(東京)
このまなま晴らしい賞を頂き、心から嬉しく思います。ご指導くださった先生や応援してくれた家族へ感謝の気持ちを忘れず、これからも書道を通して成長していきたいです。



富士の雲海

ゆったりとした筆遣いで、一点一画丁寧に伸びやかに書き上げました。五字のバランスも良く、充実した書道作品です。

神奈川県知事賞

川崎市立木月小4年 木下 愛子(神奈川)
素晴らしい賞を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。花さく里はうさぎと書きたかった言葉で、大切な人が沢山の花に囲まれて笑顔になっていく姿を想像しながら書きました。



花さく里

小学四年生で基本の筆遣いを紙面に気迫ある創作努力に感じます。日本書美文化の担い手になります様に励ましていただきます。

豊穣の喜び

いわき市立中央北中3年 遠藤 知胡(福島)
この度は、素晴らしい賞をいただき大変光栄です。熱心に指導してくださる先生、応援してくださる方々に感謝を忘れず、これからも楽しんで作品作りをしていきたいです。

博学而篤志

昭和女子大学附属昭和3年 萩原 悠衣(埼玉)
様々なことを学び、成長し続けたいという思いを込めて書き上げました。この度の受賞、大変うれしく思います。今後も自分と向き合える書道の時間を大切にしていきたいです。

巖鳥神社

広島市立大塚中3年 松森 悠真(広島)
「産経新聞賞」という素晴らしい賞を頂き嬉しく思います。「巖」という文字はバランスよく書ける練習に励みました。熱心に教えて下さった先生、大変ありがたかったです。

至徳照天地

弘前市立第一中3年 花田 なゆか(青森)
この度は素晴らしい賞を頂きありがとうございます。ご指導下さる先生、支えられた家族への感謝を忘れず、更に努力して、書道に取り組んでいきます。

至徳照天地

市原市立姉崎東中3年 高橋 芽吹(千葉)
自分大好きな書道、素晴らしい賞をいただき嬉しくても光栄です。この賞を励みに、後にもさらに上を目指して、書道を邁進していきたいと思っております。ありがとうございます。

月夜の涼風

四街道市立四和6年 杉山 恭子(千葉)
素晴らしい賞を頂き、本当にありがとうございます。満天の星に思いを込め、日々練習を重ねてきました。支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も頑張ります。

満天の星

力強い起筆と終筆素晴らしいです。夏の夜満天の星を見上げ、心まで優しく穏やかなる作品です。今後更なる活躍を期待しています。

産経子どもニュース

産経子どもニュース「育て!子どもたち」では、キャンペーンに協賛していただける企業様はもちろんのこと、個人の皆様にも協賛を募っています。あなた様のお名前が1年間、母校や、ご指定された小学校あるいは中学校に「育て!子どもたち」を寄贈いたします。

◆協賛金/1校・1年間 85,000円(税別)
揭示用(パネル)・保存用(ファイル付)

◆詳しい内容は、下記ホームページからご覧いただけます。
<https://sankei-ad.net/business/shashinnews/>

思い出の母校にあなたのメッセージを...

産経新聞写真ニュースでは、産経子どもニュース「育て!子どもたち」を媒介として、各種キャンペーン活動をみなさまの協力のもと全国で開催しています。教育現場や地域社会への写真ニュースの掲示を通じて、豊かで潤いのある社会の創造に貢献し、次代を担う子どもたちを、皆様と共に育てていきたいと願っています。この趣旨にご賛同いただき、協賛いただける方を広く募集しています。あなたのメッセージと共に思い出の母校に「育て!子どもたち」を寄贈してください。

◆媒体概要◆
【創刊】昭和54年6月18日
【発行日】毎週木曜日、第三種郵便にて送付
【仕様】B4判・オールカラー・4シート1セットで発行(28週/年間112枚)【送付先】全国の小学校・中学校
【掲示方法】校舎内の掲示コーナーや図書室等に、専用の掲示板を設置し、その入学校の担当教師や担当委員会の児童生徒が、掲示します。掲示期間は1週間、掲示後は専用ファイルへ納め、図書室等に保管していただきます。

◆多彩なテーマ◆
◆学校便り ◆動物園鑑 ◆キャンペーン紙面 ◆ビジュアル社会科 他

学校から“感謝の声”が
続々と届いています!!

協賛のお申込み・お問い合わせは産経新聞写真ニュース事業部まで
◆本社/〒101-0054 東京都千代田区神田小川町1-1 TEL.03(5259)8810